

経済学の歴史

キーワード 新古典派経済学、ケインズ経済学

1776 年 アダム・スミス 『国富論』

古典派経済学の成立、重商主義に対する批判、自由貿易を提唱。

1870 年代 ワルラス、メンガー、ジェボンズ 『限界革命』

↓

ピグー 新古典派経済学の成立

失業問題を巡ってケインズと対立

1936 年 ケインズ 『一般理論』

重要なキーワード 有機需要

論敵の 1 人がハイエク (『隷従への道』)

1929 年 世界大恐慌

1930 年代 米大統領ルーズベルトによる ニューディール政策

第 2 次世界大戦後 ケインズ経済学の全盛

1970 年代以降、西側諸国で経済停滞、財政赤字の拡大

新古典派経済学の復権→「新自由主義」

1980 年 フリードマン 『選択の自由』

アメリカ大統領 レーガン

イギリス首相 サッチャー

2007 年：リーマンショック

2008 年：金融危機

→ケインズ経済学の復権 (?)